



2011年2月23日

報道関係者各位

楽天証券株式会社

## 米国株式・中国株式取扱い銘柄大幅拡充のお知らせ

楽天証券株式会社（代表取締役社長：楠 雄治、本社：東京都品川区）は、2011年3月1日（火・予定）に米国株式および中国株式の取扱い銘柄を大幅に拡充いたします。

弊社が1999年に当時ネット証券としては初めて米国株式の取扱いを開始して以来、ADR（預託証券）や海外ETF（上場投信）などの商品や新興国を含めた投資先の多様化により、日本国内の個人投資家にとっても、グローバル投資が一般的になりました。特にこの数年はお客様の投資ニーズも多様化し、大手企業だけでなく専門分野にも特化した海外企業への投資機会を求める声を多くいただきます。

そのような変化を受け、この度弊社では、米国株式を170銘柄、中国株式を127銘柄追加いたします。今回は特にADR銘柄を中心に採用し、成長著しい新興国や専門分野に特化した企業を中心に取扱いいたします。これにより、当社における外国株式の取扱いは米国株式755銘柄、中国株式417銘柄となり、国内ネット証券で最大級の取扱い規模となります（2011年2月23日時点の取扱い銘柄数に3月1日取扱い予定銘柄数を合算した数値）。

楽天証券では、お客様から信頼される商品やサービスを提供することが大手ネット証券の責務と考えております。外国株式の銘柄の拡充におきましても、お客様のニーズをもとに、その銘柄の流動性や時価総額等、弊社で策定した基準をもとに取扱銘柄を選定しております。

今後も、弊社ではお客様のニーズに即した商品やサービスを厳選し提供することで顧客基盤の拡大を図ってまいります。

### 【手数料等およびリスクの説明について】

弊社の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ホームページの「[投資にかかる手数料等およびリスク](#)」ページに記載されている内容や契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

商号等：楽天証券株式会社（[楽天証券ホームページ](#)）

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会